



## 会員の相互交流と母校の支援活動

奈良県立大学同窓会  
会長 楠本 雅章



新しい年「令和」が始まり、同窓生の皆様にはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年11月同窓会通常総会にて再任承認され、引き続き同窓会会長を務めることになりました奈良県立商科大学1996年卒の楠本でございます。日頃は同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

おかげさまで2019年の同窓会活動におきましては、長年の念願である同窓会関東支部の結成が実現したことをご報告申し上げます。具体的報告は別稿にゆづりますが、来賓の伊藤学長を含め、11名の方々が集う関東支部設立総会となりました。今後、奈良県立大学で学んだことを思い起こす機会として、同じ関東圏にお住いの同窓生の交流の場として、関東支部の発展をはかっていきたいと思っております。

また、大学支援の活動では「教育研究支援基金」のご寄付の要請について、多くの会員の皆様に賛同・協力をいただき誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

同窓会は入学時にいただいた会費によって運営され、母校の発展へ貢献、在学生の支援、地域社会とのつながり、会員相互の親睦と啓発を軸に活動しています。従来の活動の他、学生の就職支援活動の取組として、企業・団体に勤める先輩から「業務内容や社風・社内の雰囲気」等を直接聞くことができるOB・OG訪問の受け入れもキャリアサポート室と連携をとりながらすすめていきたいと考えています。

本年も同窓会役員一同、鋭意努力いたしますので、何卒変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。会員の皆様のますますのご健康とご多幸を祈念いたします。

## 学長予定者挨拶

兵庫県立大学理事・副学長  
浅田 尚紀

2020年4月から学長に就任するに当たり、同窓会の皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、奈良県立大学が公立大学法人に移行した2015年以来、理事および教育研究審議会委員として大学運営に参画してきたことがご縁となり、次期学長になる機会をいただきました。

私の専門分野は情報工学で経歴は次の通りです。京都大学工学部を卒業後、同大学院を経て、1984年から福井医科大学（現福井大学）、1987年から京都大学、1990年から岡山大学、1995年から広島市立大学、2013年から兵庫県立大学に勤めて現在に至ります。勤務する大学としては奈良県立大学が6つ目になりますが、福井医科大学は大学病院開設、京都大学は研究科再編、岡山大学は新学科完成、広島市立大学は大学開設、兵庫県立大学は法人移行といずれも大学が新たな段階に移行する時期に着任してきました。今回も、奈良県立大学は附属高等学校の設置やキャンパスの大規模整備などの計画が進行中であり、大きな変革期に着任することになります。2021年度からは次期中期計画が始まり、学長として大学改革の重責を担うこととなりますが、広島市立大学での学長経験と兵庫県立大学での副学長経験を活かして奈良県立大学の発展に貢献したいと考えています。



奈良県立大学は、前身となる奈良県立短期大学と奈良県立商科大学を合わせると卒業生が約7000人になり、同窓会組織は幅広い年齢層で構成されていると聞いています。同窓会は、卒業生のネットワークを通して大学と社会を繋ぐ重要な組織であり、大学の発展になくてはならない存在だと考えています。同窓会の皆様には、引き続き奈良県立大学をご支援いただくようお願い申し上げます。

## 大学と私

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通

大学教員として初めて教壇に立ったのは昭和58年（1973）のことです。大学院での研究を終えましたが、まだ大学の専任教員の職を得ることはできませんでした。縁あって奈良県立大学の前身である奈良県立短期大学で非常勤講師として財政学を担当することになりました。社会人学生が多く、新米教員の私にとって毎回の講義は緊張の連続でした。3年が経とうとした時、幸運にも教員公募のあった沖縄国際大学に職を得ることができました。当時も今も大学に専任教員の職を得ることはなかなか難しいものです。知人も親戚もない沖縄で本格的に大学教員としての人生が始まりました。方言や異なる生活文化に戸惑いましたが、学生、同僚、沖縄の人々に受け入れていただき、充実した時間を過ごすことができました。



3年が経った頃、奈良県立短期大学を4年制大学にするので戻ってこないかというお話をいただきました。迷いましたが、両親のことを考え、奈良に戻ることにしました。平成2年（1990）4月に奈良県立商科大学助教授として赴任しました。当時も短期大学時代から引き続き夜間のみでの大学でした。社会人学生が多く、仕事を終えて疲れているのに熱心に学ぶ姿に教える側の私は大いに刺激を受けたものです。

平成6年（1994）から約1年間イギリス留学の機会をいただくことができ、妻と2人の娘とともにウェールズ大学で学ぶことができました。研究者としての私にとっても、家族にとっても一生の良い経験になりました。この留学がご縁で平成8年（1996）に海外英語研修制度を設けることができウェールズ大学での英語研修は8年間継続されました。第1回目の研修は、私が16人の学生を引率して1か月間大学寮で過ごしたことも今となっては良い思い出です。



平成13年（2001）4月に奈良県立商科大学は、奈良県立大学に名称を変更し、学部名も商学部から地域創造学部になりました。大変な作業でしたが、この大きな大学改革に関わらせていただくことができたことは、大学人として貴重な経験でした。当時は、新しい学部が社会に受け入れて

もらえるか心配でしたが、少しずつ認知されるようになりました。平成19年（2007）には、それまでの夜間学部を昼間学部へ移行することができました。

しかし、大学にとって大きな課題は、短大時代に建てられた老朽化した校舎を更新することでした。漸く設置者の理解を得ることができ、キャンパス整備基本計画が策定され、平成25年（2015）には「地域交流棟」が完成し、令和2年（2020）には「コモンズ棟」が完成する運びとなりました。令和3年（2021）4月には、附属高校が開設されます。



私はこの大学と30年間ともに歩んでくることができました。大変なこともたくさんありましたが、記憶に残るのは、たくさんの良い思い出ばかりです。在学生、卒業生、同僚の教職員、すでに退職された教職員の皆様に対して、大学人として大変幸せで貴重な時間を過ごさせていただいたことに心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、奈良県立大学の益々の発展をお祈り申し上げます。

2019年11月3日(日)の11時から12時まで、奈良県立大学の地域交流棟2階の「中研修室」に於いて、3年に一度の第49回同窓会総会が開催されました。

来賓に伊藤忠通学長、堀田新五郎学部長、辻本浩司常務理事(事務局長)をお迎えして、62名(内訳は短大30名、商大7名、県大11名、役員14名)が出席されました。定刻11時から数分遅れで、司会の森田理事が開会宣言を行いました。

まず、楠本会長から総会開催の挨拶がなされました。引き続き、ご来賓の先生方からそれぞれ下記のとおり、ご祝辞を頂きました。



伊藤学長からは、「2020年にはコモンズ棟が新設され、その後も建て替えが進み大学の建物が一変することになります。また、2021年に附属高校が開校され、国際交流も進み、1953年の短大発足から70周年を4年後に迎え、大学は益々発展しています」。

堀田学部長からは、「大学は教員と学生の距離が近いという特徴があり、25年間在職して教員の中で最長となります。今後は、同窓会に若い世代と教員OBの参加を呼びかけて、同窓会と大学との連携に貢献して、盛り立てていく責任を果たしたいと思います」。

辻本常務理事からは、「学生の現況として、定員150名に対し昨年は1,454名の受験があり、偏差値の高い優秀な学生が入学して、少人数対話型教育を受けています。在学生の就職のサポートを、大学と同窓会が一体になって支援していきたいと思います」。

ご挨拶の後、来賓の先生方は退出されました。

司会の森田理事から、議長に井上副会長を指名して了承されましたので、井上議長により議事進行が行なわれることになりました。

第1号議案の2016(平成28)～2018(平成30)年度活動報告を、京本副会長から年度ごとに説明しました。

活動内容は、大学の入学式および卒業式に参列、地域の佐保川清掃に参加、秋華祭実行委員会の新役員との交流会実施、会計監査実施、総会(臨時総会を含む)あるいはホームカミングデイ開催(通常総会は3年に一度なので、総会のない年はホームカミングデイを実施)、秋華祭出店、会報発行、役員会開催等です。

第2号議案の2016(平成28)～2018(平成30)年度決算報告を、高島から3年分の集計に基づいて説明しました。各年度の決算報告は、集計表の後ろに添付しています。

会計決算内容の収入は、定員以上に入学者が増えて会費収入が予算より超過して増額となりました。

支出では、(1)事務局経費、慶弔費、HP管理費、就活支援講演会費、学生会執行委員会交流費、地域ボランティア参加費が予算より少なく、(2)役員交通費とホームカミングデイ費が予算より超過し、(3)会報発行費、総会経費、卒業記念品代、秋華祭広告費はほぼ予算と同額となり、(4)大学改革協力金は大学の建物の新設が一段落する時期まで、繰り越します。



第3号議案の2016(平成28)～2018(平成30)年度監査報告を、曲淵監事と横林監事から説明しました。

2016(平成28)から2018(平成30)年度の第1号議案の活動報告、第2号議案の決算報告、第3号議案の監査報告について、質疑応答の後、賛成多数により承認されました。

質疑応答の内容は、役員交通費の使途について説明を求められ、役員会や行事に参加した時の、自宅から大学までの最寄りの公共交通機関の電車やバス代のみを支給していることを回答して、了解を得られました。

第4号議案の2019(平成31・令和元)～2021(令和3)年度新役員選任について、楠本会長から会長1名、副会長3名、理事15名、監事2名、顧問1名の氏名を読み上げて提案しました。

第5号議案の2019(平成31・令和元)～2021(令和3)年度活動計画(案)を京本副会長から提案しました。

従来行事に新しく「関東支部設立総会」が増えました。今まで支部の設立がなかったのですが、関東には卒業生が多いので、準備を進めて設立総会に漕ぎ着けました。

第6号議案の2019(平成31・令和元)～2021(令和3)年度予算(案)を高島から提案しました。

第2号の決算報告を基に、支出の予算額を実態に合わせて増減しています。事務局経費等を減額し、役員交通費とホームカミングデイ費を増額し、関東支部経費と予備費を新設して予算計上しました。

第7号議案の会則改正(案)を高島から提案しました。

奈良県立大学同窓会会則は、平成30年3月25日の臨時総会において全部改正しています。そのうちの第三章会員(会費)第6条3項「既納の会費は返還しない」について、改正前に納めた会費はどうかと疑問が呈され、役員会で検討の結果、但し、改正前に納めた会費については従前の例によると、下線部分の内容を付け加えることにしました。

2019(平成31・令和元)～2021(令和3)年度の第4号議案の新役員選任、第5号議案の活動計画案、第6号議案の予算案、第7号議案の会則改正案について、質疑応答の後、賛成多数により承認されました。

質疑応答の内容は、支部について関東以外に計画していないのかと質問があり、現在は、関東支部を組織化して充実させて軌道に乗せたいので、他の地区は考えていないが、将来的には順次、増やしていきたいと、楠本会長から答えました。

また、新任の役員だけでも紹介して欲しいとの要望が出て、3名の新役員が立ち上がって紹介されました。

議題がすべて承認されましたので、閉会宣言を森田理事が行い、(1)寄付金申込書の提出、(2)模擬店食券の利用、(3)7日は関東支部設立総会が開催されるので、知り合いの関東在住者に出席呼びかけをお願いして、予定どおり総会が無事に終了しました。

今回は、総会を秋華祭と同時開催にいたしました。出席者には、模擬店で使用できる食券を配布しましたので、総会終了後には、久しぶりの大学祭に参加して頂きました。

模擬店で食べ物や飲み物を購入し、芸人ライブ等のさまざまなイベントを楽しみ、在学生と会話して、学生に戻った感覚になって大学祭を大いに満喫されたことと思います。

食券の利用状況からも、殆どの総会出席者が総会終了後にそのまま帰らずに、秋華祭に参加されたことが分かりました。

秋華祭実行委員会の学生にとっても、参加者が増えて模擬店の収益が上がり、秋華祭を盛り上げるのに同窓会がいささかの貢献ができたのではないかと感じました。次回以降の総会を今回のように秋華祭と同時開催にするかどうかは検討しなければなりません。今回は一定の成果があったと思います。



## 奈良県立大学 同窓会 関東支部 設立総会

関東支部支部長 渡辺 宜真  
関東支部担当 森田 智仁

2019年11月7日（木）18時から19時まで、東京「奈良まほろば館」2階に於いて、同窓会念願の関東支部設立総会が行われました。この会場は東京メトロの三越前駅を出てすぐにある交通の便が良い場所に立地して、1階に奈良県のアンテナショップが入り、2階がオープンスペースの会議場で、奈良県のご好意により借用できました。

出席者は、来賓の伊藤学長を含め11名の方にご参加いただきました。

最初に伊藤学長にお言葉をいただきました。

大学の機構改革や取り組み、また2021年には付属高校が新設される旨等をお聞きし、参加者一同は奈良県立大学の発展に驚きました。

次に楠本同窓会会長から、関東支部設立までの経緯や今後の同窓会のあり方について説明がありました。



その後、近況報告を兼ねて参加者の自己紹介を行いました。久しぶりの再開に話が弾み、ゼミやクラブ活動また指導教員の思い出話で盛り上がりました。

設立総会は無事に終わり、懇親会場に移動しました。



「奈良まほろば館」の近くの「奈良旬彩 創作和食あをによし」は、奈良の食材や調理方法にこだわったお店です。美味しい料理にお酒が進み、予定時間を大幅にオーバーして、部活やゼミ、年代での繋がりを見つけ、懇親を深めることができました。

その中で関東支部の今後のあり方、また関東支部の総会は年に一度は必要であるといった、様々な意見が出されました。初めての関東支部設立総会で至らない点も多々ありましたが、大成功であったと思います。

今回の設立総会を核にして、今後関東支部の発展をはかるためには、皆様のご協力が必要です。同期生・ゼミ生・クラブ活動等で今でも親交のあるご友人をお誘いいただき、ホームカミングデイや秋華祭または関東支部の総会に参加いただくことによって、奈良県立大学同窓会は広がりを生み出し発展することができます。

さらに、後輩である奈良県立大学の学生が同窓会に何を求めているかを考えて試行錯誤しながら、とくに就職面でサポートができる体制を今後作り上げなければいけないと改めて感じました。



具体的に関東支部の今後の課題として、(1)関東での同窓会員把握推進、(2)大学に同窓会としてどう寄与していくのかテーマ設定、(3)開催日時と次期支部長の検討、(4)懇親会場の「あをによし」は当日キャンセルが出来ないので、出欠の把握を正確にして無駄な費用を発生させない等が挙げられます。

まだまだ手探りの段階ですが、同窓会としての初めての支部設置ですので、今後の集会に大勢の関東在住の同窓生の出席を推進していく所存です。今後とも、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 佐保川清掃

広報部 千葉朱穂

毎年同窓会地域助成活動として5月第三週日曜日に佐保川清掃に参加しています。今年は丁度令和元年に切り替わった年ともなりました。

朝の8時前、学校よりさらに徒歩5分先の佐保小学校校庭に集合。61回と長く続くこの清掃の意義や趣旨などの説明や挨拶があり、小さな子供から、地元の消防隊員など多くの参加者が校庭に集まりにぎわいました。

この日も毎年変わらずお天気がよく、手際のいい地域の役員の方々による役割分担もそつなく手配されて、危険な場所は機械や手慣れた大人、子供たちはこの機に川べりで何か面白いものを見つけようと、きゃっきゃとかわいらしい声が聞こえる和やかな時間を過ごせました。



普段から力仕事をあまりしない私には、翌日の筋肉痛に思いをはせながらも、鎌を振って川べりの道路のゴミ袋に長くなった雑草や流れ着いたゴミを詰めていきます。一昨年前の秋に近畿は大きな台風災害があり、その後の春の清掃だったので、ゴミの量があるかな?と思ったのですが、さほ

ど多くはあるように思えず、軽快に作業が進んでいく様子でした。



佐保川は桜の名所で有名ですが、いつか蛍の舞う川にという目標があるようで、これだけ毎年綺麗になるのですから、その報告が聞けるのはそう遠い未来ではないような気がします。

今後も同窓会では毎年参加予定していますので、朝の早くに気持ちの良い空気を吸いながら、役員だけでなく同窓会会員の皆様にもお手伝いしていただける方がございましたら、一度ご一緒に参加してみませんか?

Twitter [https://twitter.com/npu\\_funahashi](https://twitter.com/npu_funahashi)

奈良県立大学同窓会ふなはし @npu\_funahashi で検索  
同窓会行事の案内や広報させていただきます。  
フォローはご自由に。

## 同窓会事務局からのお知らせ

### ●同期会やゼミ会のご報告を募集しています。

懐かしい友との再会のご寄稿お待ちしております。またゼミ会同期会報告や日時のお知らせも会報(年一回3月発行)では受け付けていますので12月末までにご連絡いただければ会報に掲載します。会員の皆様の交流の場としてご利用下さい。

広報部は会報記事をご寄稿していただける方を募集しています。OB・OGの方々のご活躍の様子など情報をお寄せいただけますと広報部が取材に伺います。

▽連絡先はこちら：直接役員へ、又は同窓会事務局Eメール

[npu\\_dousoukai@yahoo.co.jp](mailto:npu_dousoukai@yahoo.co.jp) までご連絡ください。

Webサイト『奈良県立大学同窓会』で検索。

<http://奈良県立大学同窓会.jp>

## 奈良県立大学同窓会ふなはし

facebook グループ始めました

<https://www.facebook.com/groups/funahashi/>

★上記 URL もしくは  
右 QR コードにアクセス

◎同窓会ホームページ◎

「奈良県立大学同窓会 Web」もよろしく

<http://奈良県立大学同窓会.jp>



ふなはし

## 同窓会活動年間スケジュール

5月中旬：事業部ボランティア活動(佐保川清掃活動今年度も参加予定。) / 時期未定：関東支部集会 / 秋：ホームカミングデイ 「秋華祭」 模擬店参加支援  
同窓会会報発行 他・・・

### ◇編集後記◇

本年度は役員数も増え、通常の総会だけでなく、同窓会関東支部設立も叶い、この数年つまりに詰まっていた懸案事が全てリニューアルで新しく動き出しました。同窓会活動の詳細な日時は予定が決まり次第、同窓会HP掲載告知やSNS、ホームカミングデイなどの案内は、個別に葉書でお知らせします。編集：千葉